

令和元年 8 月 20 日

## 新高校 4 校の開設準備に係る基本的な考え方(案)

開設準備検討会

開設準備検討会は、県立高校再編の実施計画に基づき令和 2 年 4 月に設置される新高校 4 校の、開設準備に係る学習活動や名称等に関する共通課題について検討することを目的に設置された。

本検討会においては、PTA や同窓会等学校関係者、地域の方々の意見を聞くなどし、幅広い観点から検討・協議を進めてきたところであり、その検討結果を基本的な考え方としてまとめた。

県立高校の再編統合は、中学校卒業予定者数の大幅な減少が見込まれる中、引き続き、中学生に幅広い選択肢を確保し、本県の高校教育の一層の充実を図る観点から実施されるものであり、県教育委員会においては、魅力ある学校づくりを進めていただくとともに、この検討会で出された意見を踏まえ、適切に対応していただくようお願いしたい。

## 1 高校再編に係る学習活動や学校行事、部活動等に関すること。

各開設準備室においては、新高校の教育充実のため、再編対象校の歴史や伝統、生徒や保護者、地域のニーズ等を踏まえ、新高校が生徒の将来の可能性を拡げ、夢が見える学校となるよう、開設準備を着実に進めることが大切である。

新高校における学習活動や部活動等の充実に当たっては、魅力ある教育内容を取り入れるなど、新たな特徴を明確にしていくとともに、新しいカリキュラムや特色ある部活動を実施するための施設設備や教育備品の整備、教員配置等、教育環境の整備が必要である。

令和 2・3 年度の移行期においては、学習活動については、新高校はもとより、特に再編対象校では、在校するすべての生徒が卒業するまでの間、引き続き充実した学びの機会が保証されるよう教員配置等に配慮するとともに、学校行事や部活動等については、新高校、再編対象校において、生徒がそれぞれに活気のある活動を行い、充実した高校生活を送ることができるよう、合同で活動することも含め、新しい運営についてきめ細かい配慮が必要である。

なお、各開設準備室においては、中学生が適切な進路選択ができるよう、引き続き、中学校等への説明や詳細な情報の提供に努めていただきたい。

## 2 新高校の名称、校歌、校章等に関すること。

新高校の名称については、本県県立高校の名称の特徴や変遷等を踏まえ、「所在する地域がわかること」、「親しみやすく、わかりやすいこと」を基本に考えることが望ましい。

このことを踏まえ、新高校の名称には、学校の所在地の市町名などの地域名を用いることとし、1 市に複数の県立高校がある場合は、学校の所在地の市町名に位置や旧町名を加えることなどを含め、所在する地域を示し、わかりやすいようにすることが望ましい。

校歌、校章等については、校名が決定した後に、メモリアルの整備等も含め、総合的に検討していくことが望ましい。